

<もう一度手を当てた>

マルコ8：22～26

イエス様のいやしの奇跡・・・いやされた人たちはどのようにイエス様と出会ったのか。

自分から熱心に求めてやって来る人
友達に連れられてきた人
親が熱心に求めた人

ベツサイダの盲人は、人々に連れられてやって来た。

どのような思いでイエス様の元へ連れて来たのか。

親身に思っていたことなのか。

奇跡を見たくてこの人を連れてきたのか。

すると彼は見えるようになって。24節 「見上げて」

神に望みを持たない人が、神に向かって顔を上げる。

イエスはこの盲人の手をとって、村の外に連れて行かれた。23節

皆のいる所では何もされなかった。何故だろうか・・・。

イエス様は両目につばをつけ、両手をあてて言われた。

「何か見えるか」 「ぼんやりと見える」

そしてもう一度、彼の両目に両手をあてられた。一回ではなく、二回。

「何か見えるか」と、何度も呼びかけてくださった。

それから、イエスはもう一度彼の両目に両手を当てられた。そして、彼が見つめていると、

すっかり直り、すべてのものがはっきり見えるようになった。【25節】